

薬物乱用防止教室

～ R2年7月27日（月）各年次で薬物乱用防止教室を実施しました ～

薬物とは何か、薬物を始めるきっかけや入手方法など、いかに身近なもので怖いものなのかを知ることができる機会となりました。



1年次の感想

自分とは全く疎遠なものであると思っていたが、だれでも手に入るのが怖いと思った。一度手を出したらやめられないものなので絶対に手を出さないようにしようと思った。そして、自分だけでなく友達、家族も巻き込み悲しませることにもなると思った。しかし、大麻が合法的な国も存在するのでその点は難しい。

2年次の感想

大麻は、若者の多くが「おしゃれ」「かっこいい」という軽い気持ちが始めるきっかけになり、始めるとつらさから逃げるために依存につながっていくと思った。ネット社会になった今、だれもが簡単にそのような情報を手にすることができるので怖いです。

「提出期限がすぎた。→もう過ぎてるし。」と同じように「もう大麻やっているし」となってしまうのかなと思いました。でも、手を染めれば人生の終わりです。そんなことで楽しい人生を無駄にしたくないです。

3年次の感想

大麻はタバコと同じ感覚で手を出してしまうと、使いやすいからこそ怖いと思いました。ネットも便利だけど、ネットを経由して出回っていることや近くの知り合いや先輩などが服用している人もいるかもしれない。そして、使用したら自分だけで済むなら自己責任。だが、周りに広めたり巻き込むのは最低だし、周りを悲しませることになります。薬物に関係しない人生を生きたい。他人の考えに流されないように強く生きたい。